

奄美大島で捕獲されたカミツキガメ

興克樹¹・谷口真理²・三根佳奈子²

¹ 894-0045 鹿児島県奄美市名瀬平松町99-1 奄美海洋生物研究会

² 654-0049 兵庫県神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

Record of Snapping turtle, *Chelydra serpentina*, at Amami-oshima island.

By Katsuki OKI¹, Mari TANIGUCHI² and Kanako MINE²

¹ Amami Marine Life Research Association, 99-1 Hiramatsucyo, Naze, Amami, Kagoshima, 894-0045, Japan

² Kobe Suma Aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, Hyogo, 654-0049, Japan

世界自然遺産候補地である奄美大島には、リュウキュウアユをはじめ、キバラヨシノボリ、タメトモハゼやタナゴモドキ等、鹿児島県希少野生動植物種に指定されている希少な水生生物が生息し、その保全が進められている。中でも奄美大島においては、移入種とされる淡水ガメ類については、2013年から淡水ガメの生息実態調査が行なわれている(上野・興, 2015)。

今回、2014年8月10日、奄美大島龍郷町浦において北米原産の外来種カミツキガメ1個体を捕獲したので報告する。本個体を捕獲した場所は、ホテイアオイ等が一面に繁茂する流れが緩やかな沼で、近年開発による埋め立てにより面積が半減している。捕獲したカミツキガメは、背甲長319mm、腹甲長226mm、体重7860gで、解剖により生殖腺を確認したところ雄と判別された。消化管内容物は、単子葉植物の茎、双子葉植物の葉や茎、貝類のふたや殻、昆虫類、動物の肉片や骨が確認された。なお、同年、この沼では、カミツキガメの他、ミシシippアカミミガメ1個体、スッポン4個体が捕獲されている。

本個体捕獲後、周辺住民に注意喚起し、2014年9月末まで捕獲調査を続けたが、新たなカミツキガメの捕獲は無かった。本個体は飼育個体の逸出あるいは遺棄されたものであると思われる。今後も継続的な外来ガメの駆除と新たな侵入を防ぐ啓発活動の実施が望まれる。



図1. カミツキガメが捕獲された沼(奄美大島龍郷町浦)



図2. 捕獲されたカミツキガメ(雄: 背甲長319mm, 腹甲長226mm, 体重7860g)

引用文献

上野真太郎・興克樹. 2015. 奄美市における淡水ガメの捕獲記録(2013年). 亀楽9: 6-7.